



海の宝アカデミックコンテスト2023全国大会  
 令和5年11月4日 北海道大学函館キャンパス

【日本海洋科学振興財団 オーシャン・アート賞】

波浪観測値を音程変換して創造した海洋音楽に含まれる1/fゆらぎ現象の検証  
 -自らのヴァイオリン二重奏で奏でる海洋音楽の癒し効果-

学校法人成田山教育財団 成田高等学校2年  
 横内 敬文・野中 太陽

高校生バイオリニストの海洋音楽追求として、科学的、芸術的表現に挑戦した個性的な作品。内容は大きい可能性を持ち、世間のねむい常識や正常性バイアスを海の効果で軽やかに超えてみせる実力、実行力は本当にすばらしい。

(海の宝アカデミックコンテスト2023  
 審査員長 安井肇)

海の生態系サービスと音楽による文化サービスとを融合させる新しい形で私たちに恩恵をもたらす試みで、大変興味深い。今後、より効果的な癒しの効果が得られるよう期待したいと思いましたが、地域地域の特徴のある海洋音楽ができる  
 といいですね。

(北海道大学大学院水産科学研究院 教授  
 水田浩之)

まず波浪データと音楽ということに驚かされた作品でした。よくデータ処理ができていて、音楽を嗜む人の能力の高さに感服しました。もっと波浪データもいろいろと調べるとより良くなるでしょう

(日本海洋科学振興財団むつ海洋研究所  
 所長 渡邊修一)

海洋音楽！新たな分野を感じる野心的な発想と取組みに脱帽です。今後の展開が非常に楽しみに思う発表でした

(北海道大学 地域水産業共創センター  
 教授 福田寛)

当コンテストの研究領域においても研究前歴が無い斬新なテーマである。また、Museumにおいても回想法に代表されるような医療領域にリンクした取り組みがあるが、それに準ずる研究であると評価する。

(千葉市科学館 館長補佐 新和宏)